

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	
施設名（園名等）	ナースリー保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

『紙』 広がる素材あそび

<テーマの設定理由>

モノづくりの町・墨田の特徴を活かし、町工場から様々な素材をご提供いただいた。それらの素材あそびを通して、自分たちが住んでいる町を知り、実際に工場に訪れ、地域の人たちとの交流を深めようと思った。

2. 活動スケジュール

6月25日：紙との出会い

紙の加工会社からいただいた様々な紙に触れ、こどもたちが探究する中で気付いたことを記録

7月30日：紙をちぎってみよう

断截後のカラフルな紙をちぎって、地元で開催された隅田川の花火を千切り絵で表現した

9月24日：ウレタンとの出会い

緩衝材に使われるウレタンの端材をいただき、それらを組合せてこどもたちが自由に制作

10月30日：布との出会い

縫製会社よりいただいた布の見本帖の生地でこどもたちが探究。光をかざしたり、触感を楽しんだ

11月14日：片岡屏風店でミニ屏風づくり体験

屏風の工房を訪れ、屏風を制作する工程や道具を見せてもらい、実際に園児もミニ屏風を制作

12月24日／1月19日／2月26日：混合素材あそび

それぞれの素材あそびを経験した後は全ての素材を出して、様々な素材を使って制作あそびを実施

1月23日：浜野製作所の見学

金属加工の工場を訪問し、金属を曲げたり、穴を開けたりする工程を見学。また、園児たちも金属を曲げる体験をさせてもらった

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・色や形ごとに素材を分類し、一つ一つの素材ごとにトレーに入れた。
- ・大きすぎる素材はあらかじめ裁断して、こどもたちがあそびやすいように工夫をした
- ・初めて触れる素材は、園児たち一人一人に渡して、探究してもらい、気付いたことを発表した
- ・はさみ／のり／のりをすくう棒／のりを入れる器／クラフトパンチなどを準備
- ・のりを使うコーナーを設け、保育士1人が園児の活動をサポートした
- ・最初は保育士の補助を必要としていたが、回を重ねるごとに自分で全て制作するようになった



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

最初は様々な素材をちぎったり、くっつけたりして探究を始めたが、回を重ねるごとに明確なイメージを持って制作するようになった。また、その世界観を少人数のグループで共有し、制作した後は、それぞれの世界に浸って、ごっこ遊びを繰り広げるようになった。園児にとっては、制作がゴールではなく、そこから更にあそびが生まれるのだと気付かされた。また共同であそぶ中で対話が生まれ、素材の譲り合いや制作方法を園児同士が教えあったりする姿も見られ、クラスの中に「秩序」が芽生えたように感じた。